



日本共産党前都議会議員 《東京民報折込み版》

そねはじめレポート

2012年 4月4日発行 第 39 号

そねはじめ事務所

114-0032

北区中十条2-11-6

Tel:3907-1135

Fax:3906-3225

消費増税ストップ「提言」で対話広げて

街頭でも団体でも共感・疑問次つぎと

そねはじめ前都議と池内さおり予定候補、北区議団は、消費増税ストップ「提言」を区民世論にするため全力をあげています。

写真は王子駅前消費増税反対を訴えるそね・池内コンビ



★「生活保護に甘い」「国を守るには痛みも必要の意見」★

訪問の中で「生活保護にもっと厳しく」「消費税で国の財政を守らなきゃ」等の意見も。

そね前都議は「消費税を倍加すれば買い控えて不況が悪化し国の税収は激減します。」「生活保護者も被災者も学卒者にさえ仕事がないのが現実。非正規雇用や長時間残業で企業が儲けてきた分を正規採用に回せば五百万人の

失業は解消します」と話しました。

★財源は民主党の「埋蔵金」とどこが違うか★

北区医師会の野本会長への申入れ・懇談では「民主党の財源『特別会計の埋蔵金』はでたらめだったが共産党の財源論は？」と質問も。

まず直ちに株取引減税や大企業減税をやめ、原発推進費、米軍関係費、高速道路、政党助成金、天下り団体補助など予算のムダを削ること。さらに0.1%の富裕層が独占している巨額の資産への課税など段階的な財源確保を説明しました。



やる気もモラルも最低の石原都政をゆり動かした！

都議会で共産党に痛いところを突かれると渋い顔になる石原知事



- ◆◆これに対し、そね前都議もチームに入り、予算組替え動議を提出。福祉費を1兆円に伸ばし介護と国保・後期高齢保険値上げを一人1万円抑える提案をしました◆◆
- 放射能では「管理区域持出し禁止」の2万ベクレルの土壌も「基準がない」からと公園に放置する姿勢。
- 原発誘致の暴言に対し「核燃料処理の手段がない」と追及すると「そんなことは知ってる」と開き直り「原子力なしには国が減ぶ」などとうそぶく姿勢等々。
- 震災から人命を守るかなめ・住宅耐震助成は、十年で2・2万戸の計画に対し5年で3百戸の実績。それでも事態に合わせ見直ししない姿勢。
- 震災から人命を守るかなめ・住宅耐震助成は、十年で2・2万戸の計画に対し5年で3百戸の実績。それでも事態に合わせ見直ししない姿勢。
- 震災から人命を守るかなめ・住宅耐震助成は、十年で2・2万戸の計画に対し5年で3百戸の実績。それでも事態に合わせ見直ししない姿勢。

★★シリーズ若者はいま…<3>

3・11 さよなら原発集会に参加した850人が
2時46分、犠牲者に黙祷をささげました



★志位さんの綱領講座を ビデオ視聴する学習会★

今年1月から、共産党青年支部と民主青年同盟（党と連帯して活動・学習する青年組織）の合同で、志位委員長が講師の綱領学習講座をビデオで1時間ずつ見ながら感想を交流する学習会を、すでに12回とくりくんでいきます。

★青年の感想と団塊世代議員の経験談がコラボして★

北区議団とそね前都議、池内さおり十二区青年部長が可能な限り参加して、青年のビデオを見ての感想や疑問に答えています。戦後日本の社会については、「貧乏でも未来が明るく見えた」という団塊世代の福島議員の経験談がとてもリアルでした。
なぜアメリカが戦後の日本を巧みに

4月27日(金)午後7時 赤羽会館演説会 大波乱の政局を切る！

野田内閣がついに10%増税法案を国会に提出しました。が、自民・公明の対応いかんでは廃案に追いこめます。今こそ消費増税に代わる提言をお聞きください。

■小池晃政策委員長

池内さおり 12区青年部長
そねはじめ前都議会議員

支配できたのかを分析した「ワシントンハイット」をそね前都議が紹介し、関心が集まりました。

★青年をさそって

規模を広げよう★

参加者は10名ほどですが、「せっかくの交流の機会をもっと多くの青年に広げよう」と話し合っています。今後は社会変革の道を学びます。若い方の参加をお待ちしています。
(写真は青年が多かった8月石巻ボランティア)



そねはじめ交友録<その三十三>

自らのスキャンダルを逆手にとり 民主都議からみんなの党衆議員に

2001年都議選で民主党ブームでテレビ記者から転進してきた若手都議がK氏で、交友というより論争相手でした。

当時は石原都政のワンマン政治が大荒れのと看で「浜渦詣で」と囃されるほど、福祉でも建設でも浜渦副知事を通さねば新たな企画は進まない事態でした。自民党大物と露骨に張り合い権勢を誇っているうちに、練馬の福祉学園を巡って浜渦氏が民主議員をやらせ質問に立たせたという疑惑が浮上し、都議会初の百条委員会が設置されました。当時民主の役員だったK議員は浜渦擁護派の急先鋒として、勇気を持ってアンチ浜渦の証言をした都職員に乱暴な質問をあびせ、何度も委員長の警告を受けました。それでも名前が売れて民主も35議席に躍進。選挙直後のテレビで私と共演した時は、控室で「今度の民主は烏合の衆ですよ」と言っていました。

K氏は翌年、飲酒運転で高速道路で事故を起こし「雪を食べ、酒は消えずに議席消え」と書かれたとおり、雪を食べて酒気帯びをごまかそうとしたエピソードも伝わり、都議辞任。ところがその後ブームに乗ってみんなの党で衆議院議員にちゃっかり当選しました。優秀で話もうまいが、呆れるほどモラルと信条に欠けています。最近次々と都議会から国会に出て行くのは、こんな議員ばかりです。

都議会の百条委員会でもにたかかった練馬の松村都議（当時）と練馬の福祉学園の調査に行ったとき。<撮影：そね都議（当時）>

